

城ヶ島大橋着工さる

かねてからその計画が目ざされていた神奈川県三崎港と城ヶ島間をむすぶ城ヶ島大橋（仮称）は、このほどその全長にわたり実施が確定し、各部の施工業者もきまつて去る4月17日盛大なる起工式を挙行した。

本橋は有数の漁港として著名な三崎港が、年々その水揚高の飛躍の伸長にともない、現有施設の拡張の一環として、対岸の城ヶ島に用地を求めることから生じた計画によるもので、すでに城ヶ島には県営の2万坪の埋立を完成し、さらに敷地の造成に努力を払いつつある現況である。漁業用地の経済的価値を高め、港湾施設の高度利用をはかるためには、この城ヶ島と三崎を結ぶ橋が当然必要となつてくるわけである。

たまたま、この計画がアメリカカ余剰農産物見返資金の融資の対象となり、すでに5億5000万円の融資が決定したため（事業費7億円）、ここに着工の段取りとなつたもので、完成後はこれを漁港施設とし、渡橋者および車両より渡橋料を徴収する有料橋梁となるはずである。

工事の概要は次のごとくである。

位置：神奈川県三浦郡 三崎町～城ヶ崎

橋梁：設計荷重 20 t 自動車荷重

橋長：海橋 575 m 幅員 11 m, 陸橋 140 m 幅員 9 m

構造：上部工 中央主径間 三径間連続鋼桁橋（側径間および陸橋 PC 単純桁）

下部工 海橋 PC 橋台2基, PC 橋脚 11基
（うち2基は潜函）、陸橋 PC 橋台1基, ラーメン橋台1基）

道路：城ヶ島寄り 延長 573 m 幅員 9 m

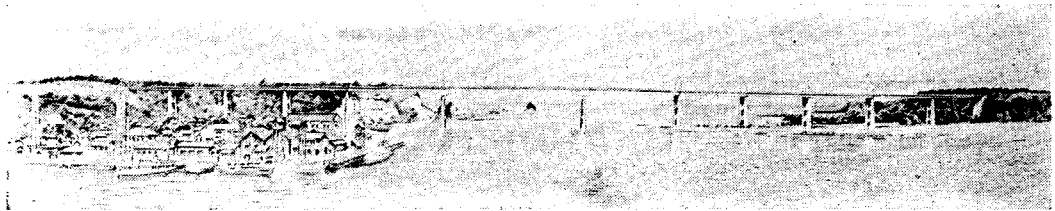
三崎寄り 延長 1130 m 幅員 9 m

資材：鋼材 1000 t, 鉄筋 600 t, セメント 3600 t（ただし PC 桁は含まず）

工期：昭和 32 年 4 月～昭和 34 年 12 月

なお本橋の施工は海橋部下部および城ヶ島取付道路を清水建設、海橋上部工の中央三径間鋼桁は横河橋梁、P C 径間をオリエンタル コンクリートが請負っており、計画の詳細については土木学会誌に近く発表の予定。

城ヶ島大橋完成予想図



ICA 計画による渡米道路視察チーム

ICA（米国国際協力局）はかねてから日本の道路の行政、技術の向上を援助するため、米国に日本から道路視察チームを招へいする計画をもつていたが、これの実現をはかるため日本生産性本部が関係方面と連絡をとり具体的計画を立てた。これによれば、派遣チームは3つに別れ、約6週間にわたつて視察するもので、それぞれの視察内容は次のとおりである。

第一次班、道路政策視察チーム このチームは、日本における道路政策の基本的問題を検討するために派遣され、道路に関する制度機構、道路整備方針、道路整備財源、国と地方庁の費用分担等の項目について視察を行うもので7月18日の出発予定で、顔ぶれは次のとおり決定した。

建設事務次官	石破 二郎	運輸省自動車局長	山内 公敏
大蔵省主計官	松永 勇	日本道路公団理事	金子 柁
日本道路公団 総務部長	淺村 廉	茨城県知事	友末 洋治
福井市長	渡谷太郎	建設省路政課長	三橋 信一
愛知県知事	桑原 幹根	和歌山市長	高垣 善一

第二次班、道路維持視察チーム このチームは、主として道路維持修繕の制度、技術的問題を検討するため派遣され、道路橋梁の維持修繕の能率的施行、交通規制並

びに交通安全の確保、沿道の出入制限、等について視察を行うもので、8月中旬出発が予定され、次のとおり派遣者が内定している。

兵庫県土木建築部長	近藤 勇	建設省道路 企画課長	高野 務
福岡県土木部長	兼重 信雄	大阪府道路課長	北村 正之
武雄市長	中野 敏雄	大阪市道路部長	河村 重俊
警視庁警邏交通 第二課長	折田 二雄	静岡県技師	木村 康宏
KK大林組	江口 馨	勝村建設KK	勝村幾之介
清水建設KK	岡本 港	KK渡辺組	渡辺 忠雄

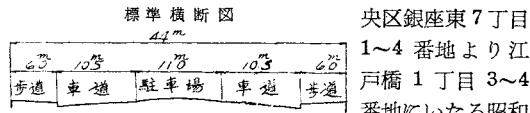
第三次班、道路建設視察チーム このチームは、道路の近代的建設技術に関する諸問題を検討するため道路計画、道路設計（特に構造基準、安定処理道）、工事施工の機械化等について視察を行うもので、8月下旬出発が予定され、次のとおり派遣者が内定している。

建設省中部地建局長	中島 武	北海道土木部次長	瀬藤 智雄
横浜市建設局長	仁科 太郎	汽車製造KK	鈴木 清一
KK宮地鉄工所	宮地 武夫	東亜道路工業KK	増田久仁男
KK鴻池組	成松 清雄	住友機械工業KK	三島 庸生
KK銭高組	杉江 伝六	KK森本組	森本 光男
宇部興産KK	渡辺幸三郎	日本セメントKK	中条金兵衛
東京大学教授	星 塾 和		

昭和通り駐車場完成

東京都においては、このほど工事着手以来2カ月で、

昭和通り駐車場整備工事を竣工した。これは、駐車場法によるわが国最初の路上駐車場となる。工事区間は、中



央区銀座東7丁目1~4番地より江戸橋1丁目3~4番地にいたる昭和通り約2.2kmであつて、在来植樹帯を駐車場として整備したものである。現在無料で開放しているが、条例の制定をまつて、有料にする予定である。

工費：1880万円、駐車容量：240台、駐車帯幅員11m（標準横断面図参照）。

日本道路公団の昭和32年度新規着工カ所

日本道路公団では32年度に新たに着工するカ所として次の各路線を建設大臣の承認を得て決定した（金額は32年度事業費）。

1. 名神高速道路 23億3000万円

建設大臣の道路公団に対する施工命令が出次第、用地買収に着手するもので、本年度は用地買収費の一部を見込んでいます。なおこのほかに約3億50万円の予定で調査、設計を行うことになっている。

2. 本州四国連絡道路 1億9000万円

現在運航している淡路島を中継とする明石、鳴門のフェリー・ボートの能力がすでに限界にきているので、船1隻と岸壁施設の増強を行うものである。

3. 東山道路 1億8500万円

京都の東山を回遊する観光道路であつて、本年度で完成する。

4. 伊香保温道 1億5000万円

渋川より伊香保温泉に通ずる道路で舗装工事が主体であり、本年度完成する。

5. 仙人峠道路 1億1500万円

岩手県の釜石より遠野市方面に通ずる道路である。

6. 都内自動車駐車場 2億円

日比谷公園の地下に有料駐車場を建設しようとするもので、総事業費は約8億円の予定である。

その他、焼津道路は十分の調査がすむまで保留となっている。

新規中小河川として16河川採択

32年度中小河川改良事業の新規河川としては、最近の災害、または他事業との関連上、着工やむを得ないものが厳選され、16河川、総事業費20億8000万円が決定した（表-1参照）。その結果、中小河川改良事業としては継続260河川に16を加え、276河川となつた。

関連事業別の分類を表-2に示す。

表-1 32年度中小河川新規16河川一覧表

府県	河川	流域面積 (km ²)	計画高流量 m ³ /sec	現流下可能流量 m ³ /sec	採択事業費 千円	効 果	
						耕地	家屋
岩手	盛川	126	1100	500	120000	113.5	265
群馬	桃の木川	102.5	707	290	300000	562.5	1102
千葉	小櫃川	284	518	280	70000	1992	216
山梨	須玉川	99.5	729	480	76000	153.4	20
長野	高瀬川	416.5	1200	750	170000	2212.7	329
石川	河原田川	126.2	760	72	90000	34.2	3210
岐阜	加茂川	19.5	73	16	100000	37.6	451
静岡	旗川	17.3	173	50	80000	218	102
愛知	河久比川	30.3	270	132	140000	151.2	2509
滋賀	安曇川	310	2300	1800	263000	1341.6	2197
岡山	吉野川	1592	1900	900	110000	343.2	528
山口	厚狭川	243.7	1200	530	220000	565.7	1839
愛媛	関川	57	810	400	70000	269.9	320
熊本	加勢川	207.6	600	250	140000	366.4	225
大分	大分川	24.9	240	80	61000	132.9	364
宮崎	酒谷川	137.7	800	400	70000	466.8	2490
計	16				2080000		

表-2 関連事業の分類

関連事業	河 川 名
最近の災害	桃の木川(30年災)、高瀬川(28年災)、河原田川(31年災)、旗川(29年災)、河久比川(28年災)、安曇川(28年災)、厚狭川(28年災)、加勢川(28年災)
港湾関連 高沙市計画 その他	盛川、関川、大分川、須玉川、小櫃川、吉野川、加茂川、酒谷川

フィリッピンのマリキナ河総合開発計画

この計画はフィリッピン政府のマリキナ計画調整委員会を中心として検討を進められてきたもので、マリキナ河域の農地のかんがい、出力18万kWの水力発電、マニラ市の水道・工業用水の補給、および洪水調節をかねる多目的ダム計画で、ダムは高さ100mのアーチ型であるが、今回賠償の一環として本計画の再検討と実施計画の樹立をわが国に申し入れてきたもので、わが国の本格的な海外建設技術進出の具体化の一歩として注目されている。

学会誌への御投稿について

学会誌へのご投稿を歓迎しております。できるだけ全会員の方にご利用賜りたいのが学会誌の念願であり、固苦しくお考えにならずに、ごく気軽なお気持ちで投稿して下さい。技術相談、会員欄、口絵、ニュース等、皆様のために広く門を開いてお待ちしております。

【編 集 部】

(67 ページより)

1957年度春季日本気象学会総会および大会, 日本建築学会論文集, 日本原子力研究所調査報告, 日本鋼管技報, 日本鋳業会誌, 日本航空学会誌, 日本生産性新聞 (日本生産性本部), 日本ユネスコ国内委員会 ニュースレター (昭.31.5.発行で終刊, 以後, ユネスコ新聞に掲載), 荷役と機械 (荷役研究所), 農業土木研究 (農業土木学会), 農業土木学会九州支部研究報告, 発電水力 (発電水力協会), 播磨造船技報, 汎交通 (日本交通協会), 富士写真フィルム研究報告, 富士製鉄技報, ベアリング エンジニア (東洋ベアリング製造), 保線ニュース (日本保線協会), 三菱造船, 木材学会誌 (日本木材学会), ユネス

コ新聞 (日本ユネスコ協会連盟), 熔接学会誌, 熔接ニュース (日本熔接協会), リフト研究会会誌

11. 昭.30.1.~昭.32.5. 間に購入の分, 巻号は紙面の都合により省く

科学文化 (昭.31.8.1 から科学と改題) 新聞 (科学新聞社), 学術月報 (日本学術振興会), 政府刊行物目録 (政府刊行物サービス・センター), テクニカル ダイジェスト (日本生産性本部), 日刊建設工業新聞 (日刊建設工業新聞社), 日刊工業新聞 (日刊工業新聞社), 日本学術会議月報 (昭.30.6.から休刊)

付記 学会備付雑誌 (国内) 一覧 (5) は 40-5・p. 242 に掲載



劃期的新製品 / 空気連行剤 (AE剤)

純 国 産
価 格 廉 価
品 質 安 定

エアパイン

(特許申請中)

…… カタログ進呈 ……

荒川林産化学工業株式会社 本 社 大阪市東区平野町1 電話(23)2131~3・3596・4539
東京出張所 東京都中央区日本橋室町4 電話(24)1820・5474~5

NKK式

ガードレール

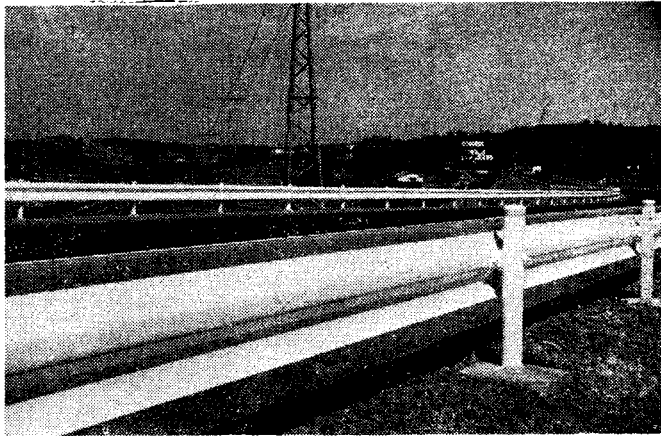


写真: 戸塚国道の NKK 式ガードレール

NKK式ガードレールはつぎのような特長を有している「鋼製防護柵」であります。

- (1) 性能が著しく大で安全感があること。
- (2) 堅牢で且つ弾性に富んでいること。
- (3) 外観が優美で、曲線部もきれいに仕上がること。
- (4) 橋梁高欄としても利用できること。
- (5) 材料運搬が容易であること。
- (6) 施工が簡単で、一部分破損の場合には早急に取替えが可能であること。
- (7) 価格が低廉であること。

実用新案出願中



日本鋼管株式會社

指 定 問 屋

浅野物産株式会社
東京都千代田区丸の内1の6 新海上ビル

朝日物産株式会社
東京都中央区京橋3の5